

～タイで人気の日本産果物～

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

先日、バンコクのサイアム高島屋で日本産果物を販売している「SUN FRESH」にて、鳥取県産の富有柿をPRするイベントが開かれました。店頭でのPR販売の他、同社が運営するフルーツパーラーでも鳥取県産の富有柿を使った限定メニューが販売され、人気を博していました。また、日本の情報を発信しているタイの人気インフルエンサーにも取材していただき、それぞれのSNSで鳥取県産の富有柿のおいしさを発信していただきました。



「SUN FRESH」の特設売り場



取材の様子



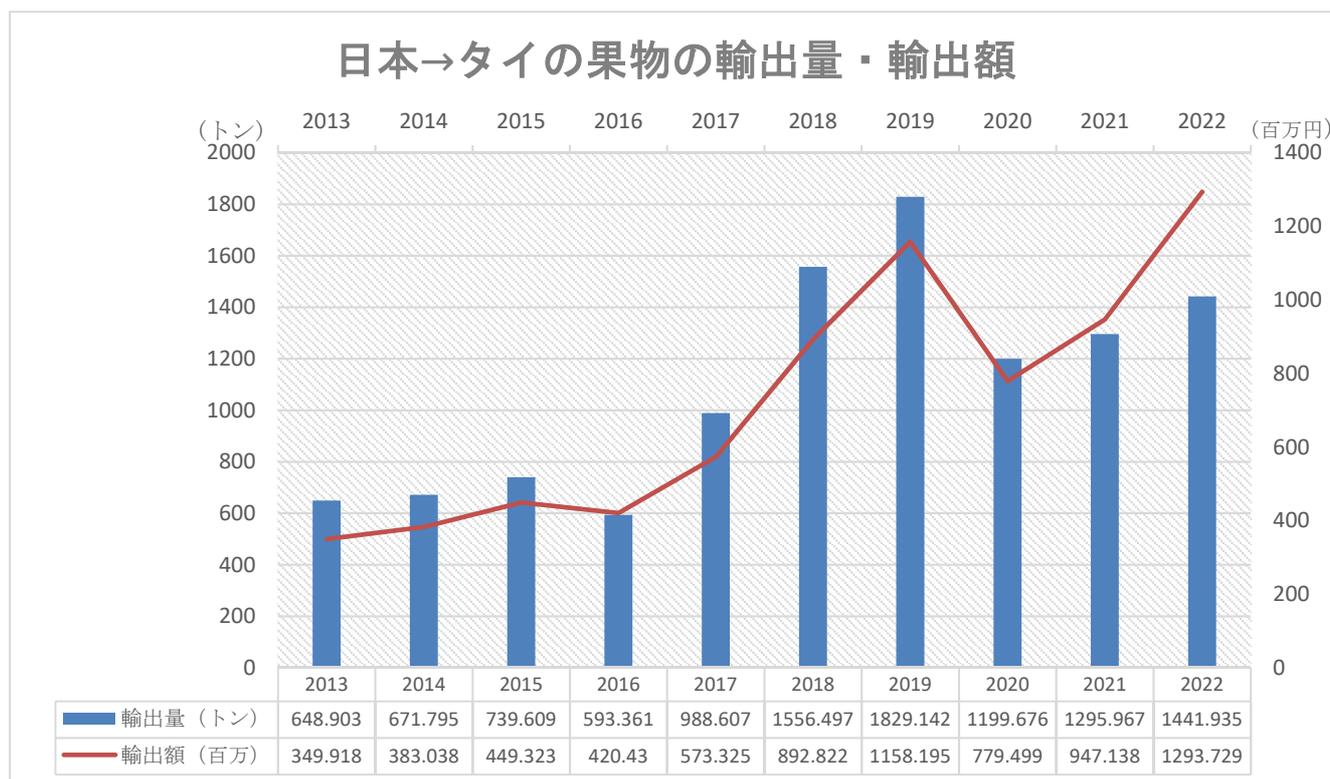
鳥取県産富有柿を使用した限定メニュー

売り場の方からも「サイズがとても大きく甘みも多かったので、とても素晴らしい状態」と好評をいただきました。

一年中温暖な気候に恵まれ、マンゴーやパイナップルなど果物も豊富なタイですが、近年では日本をはじめとした外国産の果物が売られているのを見かけることも増えてきました。今回は日本からタイに輸出されている果物についてレポートいたします。

【増え続ける日本からの輸出】

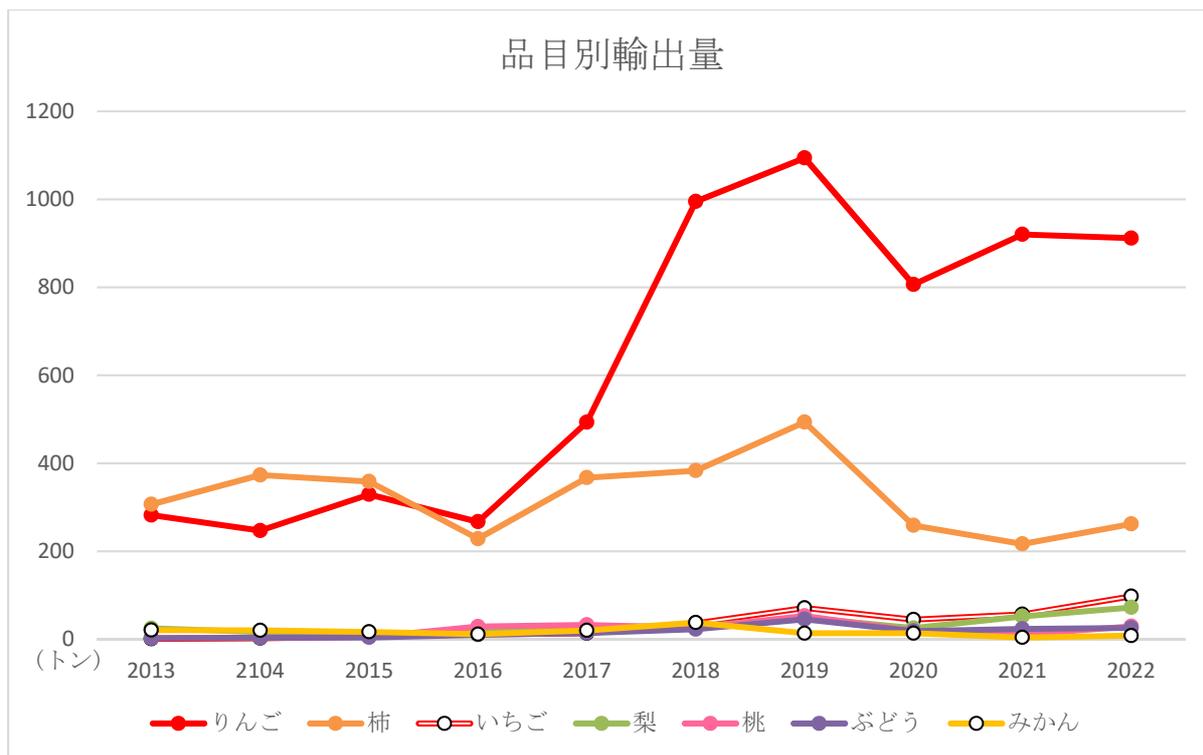
下のグラフは、日本からタイへ輸出された果物の輸出量と金額を2013年から2022年までの10年間のデータをグラフにしたものです。輸出量は2019年にピークを記録した後、コロナ禍の影響を受けて減少に転じていますが、その後も順調に回復を見せ、10年間で倍以上の輸出量となりました。輸出額を見てみると、こちらもコロナ禍の影響で2020年には減少していますが、その後輸出量以上の伸びを見せ、10年前と比べると4倍近い金額となっています。



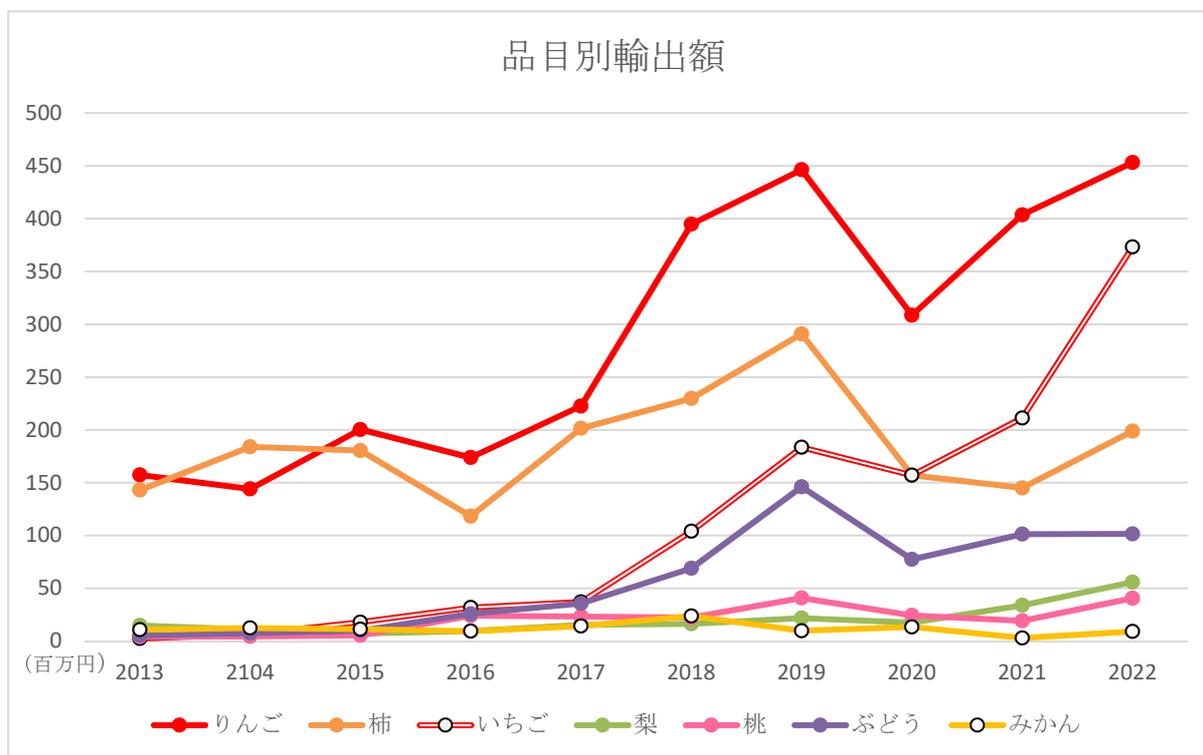
データ出所：財務省貿易統計

興味深いのは、2013年から2020年にかけての輸出量と輸出額はほぼ同じような増加・減少のカーブを描いていますが、2021年・2022年とここ2年間は輸出量の増え方を大きく上回る割合で輸出額が増加をしていることです。量に対する金額の割合が増えたということは、日本産果物の単価が上昇したということになります。

次に品目別の輸出量と輸出額を見てみましょう。日本からタイへ輸出されている主な果物は、りんご、柿、いちご、梨、桃、ぶどう（マスカット含む）、みかんの7品目です。輸出量のグラフを見てみると、りんごが圧倒的なナンバーワンでその次に人気なのが柿、それ以下はそれほど変わらない量となっていますが、輸出額を見てみると、なんといちごが柿を上回って2位、その他にもぶどうも輸出量の順位を上回っています。このことから、いちごは「あまおう」、ぶどうは「シャインマスカット」などの高級品種が多く輸出されているものと推測され、タイ人の消費動向の変化が見て取れます。



データ出所：財務省貿易統計



データ出所：財務省貿易統計

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2022年12月



古都華・パールホワイト（左）は1パック 999 バーツ（≒4,000 円）、シャインマスカット（右）は1房 5,000 バーツ（≒20,000 円）とかなり高額

今後も日本からタイへの果物の輸出は増えていくものと思われていますが、タイでは青果物の輸入に対して植物防疫法と食品法によって厳しく規制をされています。具体的には、輸入業務許可や植物検疫証明書の取得、園地・選別梱包施設の登録、植物輸入申告の申請など、かなりの時間と労力が必要となります。また、日本からタイへ旅行などで渡航する際の青果物の持ち込みについても、今後、税関での取り締まりを強化するという報道もありますのでご注意ください。

タイで人気が上がっている日本産果物の輸出については、残念ながらかなりハードルが高いと言わざるを得ませんが、ご興味がある方はぜひ当ビューローまでご相談ください。

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau
担当：辻 三朗 Saburo Tsuji
Address: 1 VASU 1 Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-260-1057
Mobile : +66-(0)-86-358-7298
Mail : tottori@aapth.com

【鳥取県東南アジアビューローの運営法人（鳥取県より業務委託）】

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2022年12月

ワンページタイ経済

項目	単位	2019	2020	2021	2022
GDP 成長率	前年比ベ (%)	2.4	-6.2	1.6 (1~9 月)	3.1 (1~9月)
人口*	千人	68,021	68,152	68,161 (1 月)	69,891 (22年10月)
労働者の数*	千人	38,207	39,451	38,641 (9 月)	40,089 (9月)
失業率**	%	0.99	1.62	2.03 (9 月)	1.38 (1~9月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	325	331	331	353
チョンブリー		330	336	336	354
アユタヤー		320	325	325	343
ラヨーン		330	335	335	354
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,131	13,562	13,436 (9 月)	14,257 (1~9月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	0.71	-0.84	1.24	6.10 (11月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	0.50	0.50	1.25 (11月)
普通貯金率**	%	0.47	0.31	0.25	0.28 (12月)
ローン金利 (MLR) **	%	6.29	5.60	5.42	5.50 (12月)
SET 指数*	1975年：100	1,579.84	1,449.35	1,657.62	1,668.66 (12月)
バーツ/100円**	バーツ	28.48	29.33	29.15	26.78 (12月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.05	31.29	31.98	35.06 (12月)
円/米ドル**	円	109	106.8	109.8	131.38 (12月)
車販売台数 (1月からの累 計)	台数	1,019,602	779,857	736,716	764,422 (11月)
B0I 認可プロジェクト	件数	1,500	1,501	1,572	1,197 (22年9月)
B0I 認可プロジェクト金額	10億バーツ	447.36	361.41	511.9	502.70 (22年9月)

*期末、**平均